

大内かわら版 NO.22

大内地区 地域の教科書

観光案内を目的に作られたものでなく、大内に住みたいという方が大内での生活をイメージしやすいよう、ありのままの暮らしぶりを記したものであり、地域住民の皆さんにとっては、当たり前になっていた地域の魅力・価値を改めて見つめ直すきっかけになるものです。

大内全体・12区毎の行事や暮らしの中の決まり事、暮らしにかかる費用、地域の役割・組織など4つの情報に分けまとめました。現在、第2段階を作成中です。

第1段階
基本情報版

「ごみ出しルール」について

大内地区の皆さんにお話を聞く中で「ごみ出しルール」の話題もよく出てきました。

指定日以外に捨てる人がいる。

収集車に来るまで日が経つと、動物がいたずらしたり、衛生的にも問題があります。

ごみを分別しないで出す人がいる。

分別されていないごみは、区長さんや担当の方が手間をかけ分別し直すそうです。



集積所に放り込み、中身が出たまま置いてあることがある。

畑や庭で、プラスチックなどを含む生活ごみを燃やしている人がいる。

野焼きは一部例外を除き禁止されています。煙や悪臭による住民トラブルや生活環境の悪化をまねくとともに、有害物質等を発生し、健康にも悪影響を及ぼしかねません。

ごみ集積場に、通りすがりの区以外の人が捨てることもある。



自然豊かな大内を、美しい「まち」として子ども達に残していくために、皆で改善しながら守っていききたいものですね。

※ごみに関する詳細は「丸森町くらしの便利帳」「保存版 ごみの分け方と出し方」をご覧ください。

参考情報

「ペットボトルや缶、びんが月1回の回収で不便」という声もありました。今は資源ごみを回収するスーパーもあるので、うまく利用してみたいと思います。

- ・フレスコキクチ・・・ ペットボトル、アルミ&スチール缶、紙パック、食品トレー
 - ・イオン …… ペットボトル、アルミ缶、紙パック、食品トレー
 - ・ヨークベニマル・・・ ペットボトル、古紙
- ※店舗によって異なること有

徳島県上勝町 日本初！「ゼロ・ウェイスト(廃棄物ゼロ)宣言」した町

世界中で広まる「ゼロ・ウェイスト宣言」とは、ごみを焼却や埋め立てて処理するのではなく、**そもそも「ごみを出さない」暮らしを作っていくもの**。『**未来の子ども達にきれいな空気やおいしい水、豊かな大地を継承したい**』という想いが込められています。

「ごみを出さない」とは！？自分たちに活かせる工夫はあるか？ 見てみましょう！

★生ごみは堆肥化。回収もなし！

地域に残っていた、**ごみの野焼き習慣の適正処理を図る**ため、各家庭の生ごみを処理してもらう、生ごみ処理機の購入費補助制度をいち早く導入。普及率は98%。

★ポイントカード

紙類を持ち込むとポイントがたまり、商品券やトイレットペーパーと交換できる。**数値化することで、ゴミを出さない工夫&リサイクルを楽しむ**ようになった。

★「ごみステーション」に来て自分で分別

分別数は13品目45種類。仕分に必要な工具も設置。年末年始を除き年中無休。自分の都合良い時にごみを持ち込み、自分で分別できる。ごみ収集車が町を走っていない。**どうやったらゴミを減らせるか、ひとりひとりが自分で考える場であり、町民全員が集まる地域交流の拠点**にもなっている。



品名	分別	回収	備考
紙類	紙類	回収	
プラスチック	プラスチック	回収	
金属	金属	回収	
ガラス	ガラス	回収	
繊維	繊維	回収	
その他	その他	回収	

★くるくるショップ

不要だが、まだ使える物を敷地内のショップへ持ち込み展示。欲しい人は持ち帰れる。



★くるくる工房

持ち込まれた服や布を子ども用の服やバックなどに**再生し販売**。不要な建材や間伐材で作ったおもちゃも。



「ここをこう変えたら面白いんじゃないか」と**アイディアを出し合い、ダメなら違う方法を探そう！**という柔軟さと即実行する住民の人柄。そして**自分達で知恵を絞り住み良い町をつくらう！**とする、**住民にとっては当たり前**の「意識」や「暮らしのスタイル」「人そのもの」が町の魅力となり、山間地にある人口2,000人ほどの小さな集落に、戻ってくる地元出身者や、移住者が急増しているそうです。

環境が違うため、上勝町の手法そのままを取り入れることは難しいと思いますが、自分達にもできるやり方を見つけて、ごみの出し方や習慣を、皆で見直してみるのも良いのかもしれないね。

